



太良町立多良小学校 学校便り 第46号

ゆたたり

学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成」

令和3年3月18日発行 文責 校長 副島 和久

いよいよ、明日は卒業式です。

佐賀県でも昨日、桜(ソメイヨシノ)の開花宣言が聞かれました。いよいよ、明日は第129回 太良町立多良小学校の卒業式を挙行いたします。新型コロナウイルスの心配などもあり、この日を迎えるまで、ドキドキしていましたが、無事に式を迎えることができそうで、ほっとしています。ご家庭におかれましても、感染防止に関わってはご協力ありがとうございました。本日は、最後の式の練習も終えて、卒業生は学級担任から通知表をもらい、在校生は校舎内の掃除、式の準備に取り掛かっているところです。



学校HPもご覧ください

昨年度は、臨時休業中で卒業生とその保護者だけの寂しい卒業式ということでしたので、今年度は、できる限り、これまで通りの卒業式を行いたいという思いで、全教職員で協議、準備を進めてきました。式場における新型コロナウイルス感染拡大防止の対策、式の時間短縮、体育館の広さを考えて、1年生と2年生は教室でのオンラインによる参加とするなど、様々な対策を講じながら、明日を迎えることとなります。そのため、在校生のお祝いの言葉や卒業生のお別れの言葉もこれまでよりは言葉を精選し、短くしてもらうよう校長としてお願いしたところです。また、退場時の卒業生の一言についても省略させてもらいました。(その代わりに、保護者席を回って退場します。)式中は歌うときも含めて、原則、マスク着用としていますが、例外として、卒業生の証書授与のみマスクを外して行うこととしています。

安全・安心な中で充実した式を行うため、これまで通りではないことも多々ありますが、第129回 卒業式を挙行できることを喜び、子どもたちも短い言葉の中にこれまで以上の思いを込めて、式に臨んでほしいと思っています。

6年生の修了式を行いました！

卒業式に先立って、3月18日の3時間目に6年生だけの修了式を行いました。体育館で、児童代表の浦津稜世さんに修了証書をお渡ししました。(右の写真)

校長として、子どもたちには次のようなお話をしました。



義務教育の3分の2が終わりました。義務教育の期間は、自分の可能性をできるだけ広げ、自分自身のことをもっともっとよく知るための時間であるので、

- ① 中学校では、好きな教科や得意な教科はもちろんですが、苦手な教科などにも全力で取り組んでほしいと思います。

未来の自分は「なりたい自分」と「なれる自分」が交わったところにあります。どんなになりたい職業があっても、その職業をするために必要な力がなければなれませんし、どんなに力があっても、その力を使って頑張りたいという思いがなければ、その力を発揮することはありません。義務教育の9年間は皆さんの中の「なりたい自分」と「なれる自分」をぐーんと大きくする時間だと思えます。



- ② たくさんの本を読んでください。

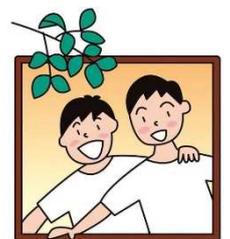
本は、皆さんが知らない世界をたくさん教えてくれます。行ったこともない世界中のことや、タイムマシンでしか行けない昔のこと、まだ知らない未来のことなど、本を通して知れることはたくさんあります。ぜひ、中学校でもたくさんの本を読んでください。



- ③ いろいろな人と知り合い、人間関係を広く豊かにしてください。

中学校では、今以上にいろいろな人と会うこともたくさんあると思います。授業も9教科を10名以上の先生から学ぶことになると思います。たくさんの人と知り合い、いろいろな人のよさに気付ける人になってほしいと思います。なかには、気の合う人ばかりでなく、そうではない人もいるかもしれません。でも、そのときも、関わることをやめるのではなく、その人のよさを見つけながら、かかわりを作ってほしいと思います。

中学校でのなお一層の活躍を期待しています。



学校評価の結果について

令和2年度の学校評価及び学校関係者評価の結果については、学校ホームページに公開しています。併せて、「多良小学校教育のためのアンケート」保護者、児童、教職員の結果についても同様に、学校ホームページに公開していますので、ぜひ、ご覧ください。

ホーム > 教育活動 > 学校評価

多良小学校では、これらの結果を踏まえて、令和3年度に向けての学校教育計画を策定中です。来年度はさらに充実した教育活動を展開できますよう、頑張っていきたいと思えますので、引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

